

# 2024年度（令和6年度）事業計画書

障害者支援施設 久保更生園

## 1 施設を取り巻く現状と課題

### （1）事業の種類及び利用定員

- |            |     |
|------------|-----|
| ① 生活介護事業   | 60名 |
| ② 施設入所支援事業 | 60名 |
| ③ 短期入所事業   | 2名  |

### （2） 県市町村等からの委託、補助事業等

- ① 由布市緊急時入所支援事業

### （3） 地域における公益的な取組

- ① 子ども工作教室
- ② 緒方町チューリップフェスタボランティア
- ③ 町内一斉清掃活動
- ④ 障がい者の学び支援事業 「ゆふぽきらきら教室」

### （4） 運営方針

令和6年度は、利用者の重度化・高齢化の進行に対応をするため、利用者が望む生活を基本に、より安心・安全で快適な生活が送れることができるよう取り組んでいきます。

そのためには、研修やOJT等の機会を通して、職員一人ひとりの技術力を向上することで、利用者一人ひとりに合った支援・サービスの提供に繋がるとともに、生活環境の整備に取り組んでいきます。また、今後さらなる対応困難な事例が発生することも考えられることから、それに対応できるようさらなるチーム力の強化を図っていきます。併せて、職員の働き方改革にも継続して取り組みながら、事業所の組織図を全職員が改めて認識し、統制された情報伝達・決定・共有の仕組みを整え、速やかな業務の改善・実行を行うことで、効率的な業務の遂行に繋がっていきます。昨年度から取り組んでいるICT・DX化も進めていき、より安定した業務に取り組んでいきます。

以上のことから、「施設内の環境整備」「職員のチーム力向上」「職員の働き方改革」などを進め、利用者、職員の満足度の向上を目指していきます。

## 2 施設の実施策と取組の方向性

### (1) 職員が働きやすくやりがいを感じられる職場づくり

ア 福祉・介護業界のイメージアップを図り、多様な働き方を推進する。

|        |   |
|--------|---|
| 実施施策   | 法人制度の周知や業務分担の明確化  |
| 現状と課題  | 法人の取り組みの周知、育休制度等の利用には一定の成果が見られるものの、人員不足により休暇が取りづらく感じる等の課題もある。制度を利用しやすく、働き方の多様化をより前向きに推進していくための人員確保・業務整理が今後の課題である。 |
| 取組の方向性 | 制度の利用や非正規職員の勤務条件について、職員全員でその内容を把握し、合意形成を行った上で、適切な業務の遂行に繋げる。   |

イ OJT 制度を中核に職員一人ひとりを育成し、チームケアを推進する。

|        |   |
|--------|---|
| 実施施策   | 組織体制の強化を図りチーム力を向上   |
| 現状と課題  | サービスの質を少しでも高めるため、職員個々のレベルアップもさることながら、チームとしての力量を高めていくことが必要であり、報告・連絡・相談の徹底が必要不可欠である。また、非正規職員の増加や職員の年齢層の幅が広がっている。多様な働き方を踏まえ、職場内の横の繋がりを大切にしたい組織体制の強化が必要である。 |
| 取組の方向性 | 組織体制やチームケアに関する研修会へ積極的に参加し、チームで取り組む企画を模索し実施する。   |

ウ 職場風土を改善し、職員の定着率とモチベーションを高める。

|        |  |
|--------|--|
| 実施施策   | 職場内の関係作りの構築  |
| 現状と課題  | 人材確保が困難な状況から職員が長く働き続けられる職場づくりが重要であるとともに、職場内の縦と横の関係性の強化を図り、開かれた職場環境づくりが必要である。 |
| 取組の方向性 | 事業所の組織図の認識や「報告・連絡・相談」の手順及び必要性を全職員が共有する機会を設け、円滑な情報共有・フィードバックに繋げる。             |

エ 業務の生産性を高め、ワークライフバランスを推進する。

|       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 実施施策  | 効率的かつ効果的な業務改善               |
| 現状と課題 | 利用者支援（業務時間）が終わってから各自の事務業務に入 |

|        |   |
|--------|---|
|        | らざるを得ない現状があり、時間外業務を強いる事に繋がっている。特に記録業務に関しては障がい福祉サービスにおいて重要性が高く、利用者支援の充実にも繋がる観点から、優先して課題解決に取り組む必要がある。 |
| 取組の方向性 | タブレット等の IT・DX ツールを活用し、効率的な業務が行える環境づくりに向けた情報収集・計画を行う。  |

(2) 利用児者の生活を支えるサービスの質の向上

ア 先進的で魅力あるサービスを提供し、サービスの質を高める。

|        |  |
|--------|--|
| 実施施策   | 専門的な知識や技術の向上   |
| 現状と課題  | 利用者の重度高齢化が顕著になっており、支援者 1 人あたりにかかる負荷が大きくなっている。また、強度行動障害や精神障害の方などに対する対応困難な事例も増えている。虐待防止及び権利擁護の観点では、継続した取り組みにより不適切ケア・言葉遣いに対する意識改革に一定の成果が見られるが、引き続き啓発活動を実施していく必要がある。 |
| 取組の方向性 | ① 外部機関の強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）へ積極的に参加し、専門知識の習得や技術の向上に取り組んでいく。<br>② 虐待防止に関する内部研修を計画的に行い、意識改革を行っていく。  |

|        |  |
|--------|--|
| 実施施策   | 統一的なサービス評価でサービスの質の向上                                       |
| 現状と課題  | 第三者による客観的評価について、福祉サービス第三者評価事業が制度化されており、平成 22 年以降実施できていない。  |
| 取組の方向性 | 福祉サービス第三者評価を受けるにあたり、統一的なサービスの提供を行える仕組み作りを行い、サービスの質の向上を目指す。 |

イ 安全安心で快適な暮らしを保証し、利用児者の満足度を高める。

|        |  |
|--------|--|
| 実施施策   | 快適な生活に向けた居住空間の整備   |
| 現状と課題  | 障がい特性による不衛生な環境や、居室の 4 人部屋から生じるプライバシーの問題が見られる。施設全体の老朽化もあり、重度高齢化する利用者のニーズに対応しきれていない。 |
| 取組の方向性 | 利用者の障害特性に寄り添った支援を提供するために課題となる生活環境を洗い出し、専門業者の意見も取り入れなが                              |

|  |                          |
|--|--------------------------|
|  | ら改善計画を立て、優先順位をつけて実施していく。 |
|--|--------------------------|

ウ 施設機能を積極的に開放し、地域とのつながりを強化する。

|        |   |
|--------|---|
| 実施施策   | 積極的な地域交流・地域貢献   |
| 現状と課題  | 日々の利用者支援に注力している現状、+αとしての地域貢献・施設機能開放事業の実施は現実的ではない。また、地域との繋がりを強化することで、利用者の生活の質を上げるという観点から地域交流を図ることが必要である。     |
| 取組の方向性 | ① アート活動を軸に置き、作品展への展示や情報発信などで地域との交流を行う。<br>② 既存の地域貢献活動を引き続き実施しつつ、子ども工作教室については地域からのニーズを改めて分析し、より適切な実施形態を模索する。 |

(3) 安定的で持続的な経営基盤の確立

ア 収入の安定確保と経費増大の抑制で、安定性の高い財務体質を維持する。

|        |   |
|--------|---|
| 実施施策   | 利用率の向上と安定した収入の確保  |
| 現状と課題  | 利用者の退所や入院による空床が増加し、利用率が低下している。関係各所との情報交換は定期的に行っており入所希望もあるが、生活環境面で契約に至らず入所を見送るケースもあった。人員不足により現状の人数でも利用者支援が行き届かない部分があり、利用率向上に向けた土台作りが課題である。 |
| 取組の方向性 | ① 生活環境を整備し、入所希望者に魅力を感じてもらえる施設づくりに取り組む。<br>② より効率的な利用者支援が行えるよう、現状の利用者の状態や人員配置を考慮した支援体制の構築を行う。  |

イ 中長期的な視点をもって、持続性の高い経営を行う。

|        |   |
|--------|---|
| 実施施策   | 建物の老朽化への対応  |
| 現状と課題  | 経年劣化により、建物の老朽化が進んでいるため、計画的に修繕を行うとともに、定期的な点検や日常の保守など建物・設備の維持管理体制を強化することが必要である。 |
| 取組の方向性 | 修繕計画を基に、優先順位を付け、計画性を持って修繕を行っていく。建物清掃(年2回)を実施しながら、定期的な点検をする仕組みづくりに取り組む。        |

ウ 組織内の連携を強化し、強固な組織体制と経営基盤を確立する。

|        |   |
|--------|---|
| 実施施策   | 組織内連携の強化  |
| 現状と課題  | 会議決定事項等の情報共有について、試行錯誤を重ねながら改善に取り組んでいるところであるが、不十分さが感じられる。支援の統一や事務作業の効率化を図るためにマニュアル作成を進めている。                  |
| 取組の方向性 | ① ICT を活用した効率的な情報共有の仕組みを検討、導入、定着を目指す。<br>② タイムテーブルをはじめとした各種業務のマニュアルの作成、定着を図ることで、チームとして統一された業務を行えるように環境を整える。 |

### 3 目標利用率

| 事業名      | 定員 | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 1  | 2  | 3  | 平均/月 |
|----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 生活介護事業   | 60 | 55 | 55 | 56 | 56 | 57 | 57 | 58 | 58 | 59 | 59 | 60 | 60 | 59.4 |
| 施設入所支援事業 | 60 | 54 | 54 | 55 | 55 | 56 | 56 | 57 | 57 | 58 | 58 | 59 | 59 | 58.4 |
| 短期入所事業   | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2    |

### 4 固定資産物品購入計画

(単位：千円)

| 名 称                  | 執行見積額 |
|----------------------|-------|
| 1 階各棟廊下エアコン(天理 4 方向) | 400   |
| 浴室リフト入替              | 650   |
| 福祉車両軽自動車(車椅子対応)      | 2000  |
| 職員用靴箱                | 200   |
| 掃除用具入れ               | 200   |

### 5 修繕計画 (大規模修繕を除く。)

(単位：千円)

| 名 称                 | 執行見積額 |
|---------------------|-------|
| 北棟 1 階利用者トイレ水漏れ修理   | 500   |
| 利用者浴室マット設置          | 300   |
| 利用者浴室スロープ設置         | 100   |
| 床の張替え (各居室、廊下など)    | 300   |
| 照明器具取替 (トイレ・支援員室など) | 270   |
| 仕切り設置 (食堂、支援室)      | 280   |

|             |     |
|-------------|-----|
| 食堂テーブル交換    | 450 |
| 食堂キッチンシステム  | 463 |
| 北棟1階職員トイレ改修 | 500 |
| 北棟2階職員トイレ改修 | 500 |
| 職員浴室改修      | 700 |
| 事務所の椅子交換    | 200 |
| 2階支援室マット購入費 | 100 |

6 大規模修繕計画

(単位：千円)

| 名 称 | 執行見積額 |
|-----|-------|
| なし  |       |